

長崎高教組新聞

発行
長崎県高等学校教職員組合
〒850-0013 長崎市中央2丁目2番5号
長崎高教組会館
☎ (095)-827-5882
Fax (095)-826-2976
編集責任者 佐藤真一郎
購読料 一部100円
組合員は組合費を含む
メールアドレス
naga-kks@fsinet.or.jp



2024年度からの賃金リンクを再提案 検証なき県教委の提案に強く抗議

10月14日、県教委は2024年度以降の人事評価制度について提案を高教組に行いました。この制度の交渉は、今回で通算8回目となります。交渉には、高教組本部から鍛冶委員長以下、執行部4人が参加し、県教委は、高稲教職員課長、初村人事管理監、他6人が対応しました。

現場を無視した拙速なプロセス

高教組は、現行制度が名目上の試行として、今年度4月にスタートし、教職員には最終評価も示されていない中で、県教委が再提案を示したことに對して「なぜ試行の人事評価も終わらないうちに、次の制度を提案するのか」質しました。県教委は「地公法により人事評価制度は導入しなければならず、導入が遅れた教育委員会と知事部局を合わせる必要がある」とし、現場を無視した従来の回答を繰り返しました。高教組は人事委員会が「人事評価制度を急いで導入することを求めているのではない。どのような形で導入するかは、制度を生かす上では大切



教職員課長から高教組へ提案書が手交されている様子

2025年度以降の給与への反映について県教委は、別表(裏面)のように変更する再提案を示しました。概要は、昇給する評価SSが5%以内にとどまっていた区分を、SS10%以内・SS40%以内まで大幅に広げ、これまで通りの昇給で、幅広にとられていたA評価となる教職員の区分が縮小されることになっています。つまり、給与が上がる教職員と上がらない教職員の二つに分けるものでした。また、国から特別昇給制度の廃止も指導されており、昇給の原資は、別表にある特昇制度を廃止することで、この制度は成立しています。長崎県の地理的な特徴でもある離島教育に携わる職員の昇給廃止や病気を克服し復帰した教職員の昇給復元措置を奪うことで、最大50%の教職員の昇給の原資を賄うことを高教組は強く受け止めています。

長崎高教組は職場アンケートから、業務削減に関する声が多数寄せられたため、9月の高文連・高体連に続き、進研協に働き方改革について懇談を申し入れ、10月5日に進研協からは会長・理事長・事務局長(3名)と高教組から鍛冶執行委員長と佐藤書記長の計5名で懇談を行いました。

これまでの進研協の働き方改革に資する取り組みについて、進研協は「一番大きな事業である県下一斉模試については、完全廃止は難しい」としながら、業務削減については、

「実施学年と教科数を絞り込み、関わる教職員を平成29年度以前の負担増について、進研協は「教職員全体が高齢化し、業務に関する教職員の

した。高教組は「現行の人事異動方針により、進学校だけを回る教職員が、何度も担当することになっていないか」と指摘しました。また、作問担当者には、本人の同意を得るプロセスなどの問題は改善するよう求めました。進研協は「メールやり取りでのやり取り

も解禁して、以前よりは時間短縮ができるようになってきている。作問は、これまで学校が培ってきた協働性を壊す恐れのある制度です。この制度が浸透してしまえば、教職員が協働して人を育てる文化は学校からなくなるかもしれません。教職員が自己の成果だけに囚われるようになれば子どもたちに与える弊害は極めて大きくなります。

この人事評価制度(賃金リンク)について理解を深め、職場でそのことを語り、仲間を増やしていきたいでしょう。

働き方改革



90名から、現在38名に減らし、さらに削減がでないか検討している」と答えました。また「作問研修会や学年主任会なども実施回数削減や研修内容厳選など、見直しは随時進行中である」とし、「研修の参加形態も各校からの推薦ではなく希望制を取り入れてい

る。全体バランスを取ることが難しくなっている」と明らかにしています。年齢層も上がり、全体に影響している

も解して、以前よりは時間短縮ができるようになってきている。作問は、これまで学校が培ってきた協働性を壊す恐れのある制度です。この制度が浸透してしまえば、教職員が協働して人を育てる文化は学校からなくなるかもしれません。教職員が自己の成果だけに囚われるようになれば子どもたちに与える弊害は極めて大きくなります。

この人事評価制度(賃金リンク)について理解を深め、職場でそのことを語り、仲間を増やしていきたいでしょう。

組合は であい ふれあい たかめあい

人事評価結果の給与(昇給・勤勉手当)への反映について(再提案) 2022年10月14日付

能力評価昇給への反映

【2024年度】					
評価(昇給)区分	SS	S	A(標準)	B	C
昇給号数	55歳未満 6号給	5号給	4号給	2号給	昇給なし
	55歳以上 2号給	1号給	昇給なし		
職員割合	5%以内	—	—	—	—

【今回の提案:2025年度以降】

評価(昇給)区分	SS	S	A(標準)	B	C
昇給号数	55歳未満 6号給	5号給	4号給	2号給	昇給なし
	55歳以上 2号給	1号給	昇給なし	昇給なし	昇給なし
職員割合	10%以内	40%以内	—	—	—

業績評価の勤勉手当(ボーナス)への反映

2024年度					
評価区分	SS	S	A	B	C
成績率	標準以上 (0.95+α)	標準以上 (0.95+α)	標準 (0.95(※))	標準以下 (0.95-β)	標準以下 (0.95-β)
職員割合	5%以内	—	—	—	—

再任用職員:C評価の場合、標準(0.45※)以下の成績率とする

※2022年6月期の勤勉手当の成績率

【今回の提案:2025年度以降】

評価区分	SS	S	A	B	C
成績率	標準以上 (0.95+2α)	標準以上 (0.95+α)	標準 (0.95(※))	標準以下 (0.95-β)	標準以下 (0.95-2β)
職員割合	10%以内	40%以内	—	—	—

再任用職員:B、C評価の場合、標準(0.45)以下の成績率とする

特別昇給の廃止
給与構造改革の趣旨、及び地方公務員法の趣旨・規定を踏まえ、2025年度が全ての評価結果を給与へ反映することに伴い、以下の特別昇給制度について2025年度に廃止する。

- (1)号給適用調整措置
- (2)病気休職等により昇給号数を抑制された者に対する復元措置
- (3)離島特別昇給制度

実施時期

年度	給与への反映
2022年度	
2023年度	2022年度評価の反映はなし
2024年度	2023年度評価のSSとCを反映
2025年度	2024年度評価の5段階を反映

講師の三浦さん(右)と柴口さん(左)。震災後の状況を語る島県いわき市・産業創造館



柴口さんのスライドより。雑草の茂る我が家の前に、防護服を着て並ぶ早川さん一家。娘は「これが最大の大変な場所に戻れないうちは、悔しさはほどか。」



労働組合として、安心・安全な社会の実現をめざす全教は、9月23、24日に、福島県浜通り地区への「被災地を見る・歩く・考える」行動を行いました。全国から多くの組合員が参加し、長崎からは岡山執行委

被災地を見る・歩く・考える「行動(全教)①

フクシマを現地で学ぶ

【学習会】
初日は、現地で活動されている方を講師に学習会を行いました。農家の三浦広志さんは、福島の農業の復興をめざし、仲間とともにNPO法人「野馬土(のまど)」を設立。

行動を行いました。全国から多くの組合員が参加し、長崎からは岡山執行委から参加した。メンバーが参加しました。メディアが十分には伝えない、現地の人々の生の声を聞き、復興とはどうすれば安心・安全な社会が実現できるかを考えました。



早川さん(中央)のお話を聞く。「次の大事故は、またも日本かもしれない」との予言も。11月24日、橋本町・伝言館

農水省や東京電力と交渉を重ね、線量測定や太陽光パネルの普及などにも取り組んでいきます。交渉ではアイディアでリードし、要求をほぼ実現させているとのこと。自らの故郷と労働を愛する気持ちが、未来を切り開いているように思えました。

【伝言館】
2日目はバスで3か所を見学。最初に訪れたのは伝言館。二葉地区の宝鏡寺の住職で、原発反対運動に取り組んできた早川篤雄さんが、賠償金などで建てられました。国や東電がこれまで配布した原発推進のチラシやポスター、除染の写真や器具、防護服等、約100点が展示されています。

早川さんは、「世界最大級の事故だったのに、政府も東電も反省がない。日本は地震が多く津波被害も受けやすいので、このままいけば、次に原発大事故を起こす国は、またも日本かもしれない」と述べ、それを防げるのはみんなの勇氣ある行動のみと述べました。(次号つづく)

●先生方には貴重なお時間を割いていただき、本当に感謝しています。今回、何もわからない状態で、不安がとてもしつかったです。紹介して

教員採用試験学習会参加者から7人が合格

和やかで、模擬授業や面接練習を自分自身が行っているとき以外、温かく落ち着いた気持ちで過ごせました。結果は「合格」でした。2次試験の内容があ

授業練習、面接練習、本当にありがとうございました。(特支)
●面接調査票は、いろいろな視点で添削してくださったので良かったです。課題面接は、

●本番前日に模擬授業の学習会をして頂きました。(高校)
●貴重なお時間を有難う御座いました。非常に有意義な時間となり

●面接調査票の添削について、お忙しいなか、

●課題面接(模擬授業)の雰囲気を知ることができました。他の先生方の模擬授業を見ることもできて参考になりました。(高校)

今年の採用試験対策学習会には8人の方が、参加され7人の方が合格されました。(高校4人、特支3人)合格された皆さんから、教組の学習会の感想、お礼のメールが届いていますので、紹介しま

す。2回とも参加させていただき、どちらの回もやはり緊張しましたが、試験前に体験できたことは本当に良かったと思っています。先生方の雰囲気もとても

まにも不甲斐ないものでしたので、もう本当に信じられない気持ちです。これからが本当の本番で、やっとスタートラインに立てたと思っています。模擬

色々な先生の授業を見ることができてよかったです。他教科の先生の意見も参考になりました。無事に合格できました。ご指導ありがとうございました。長崎県のた

思います。ありがとうございます。質問の答えへの指摘を頂き、伝え方を見直すよい機会となりました。教員採用試験、合格致しました。先生方に予想質

ついでにアドバイスをしていただきました。質問の答えへの指摘を頂き、伝え方を見直すよい機会となりました。教員採用試験、合格致しました。先生方に予想質

農水省や東京電力と交渉を重ね、線量測定や太陽光パネルの普及などにも取り組んでいきます。交渉ではアイディアでリードし、要求をほぼ実現させているとのこと。自らの故郷と労働を愛する気持ちが、未来を切り開いているように思えました。

励ましてきました。「ふるさと教育」では、震災時の混乱の中でも弱い立場の人のために行動できた優しい大人がいたことを紹介「悪いことばかりじゃなかったよ、と力強く話せる子どもになってほしかった」とのことでした。

2日目はバスで3か所を見学。最初に訪れたのは伝言館。二葉地区の宝鏡寺の住職で、原発反対運動に取り組んできた早川篤雄さんが、賠償金などで建てられました。国や東電がこれまで配布した原発推進のチラシやポスター、除染の写真や器具、防護服等、約100点が展示されています。